

所 属	林政部 県産材流通課
担当(係)名	加工流通担当 内線 3015

新 木材需要に対応できる生産流通体制の構築

＜緊急雇用創出事業臨時特例基金事業＞

＜ふるさと雇用再生特別基金事業＞

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
(前年度 22,579)	一般財源 22,579	委託料 22,462
(21,467)		

2 背景・現状

県内の森林資源が充実する一方、製材工場の整備や平成23年度に予定されている中津川市の合板工場の本格稼働等によって、木材需要の着実な増加が見込まれている。

このため、これらの需要に対応できる木材を低コストで安定的に生産・流通する体制の構築が求められている。

3 事業目的

木材流通の担い手となる人材の育成や木材の需給情報のマッチングなど、木材流通のコーディネーター機能を強化する。

4 事業概要

(1) 木材需給コーディネーターの育成 [10,905千円]

＜緊急雇用創出事業臨時特例基金事業＞

木材の生産流通のキーマンとなる木材需給コーディネーターを育成する。

(2) 新 木材需給データベースの整備 [2,000千円]

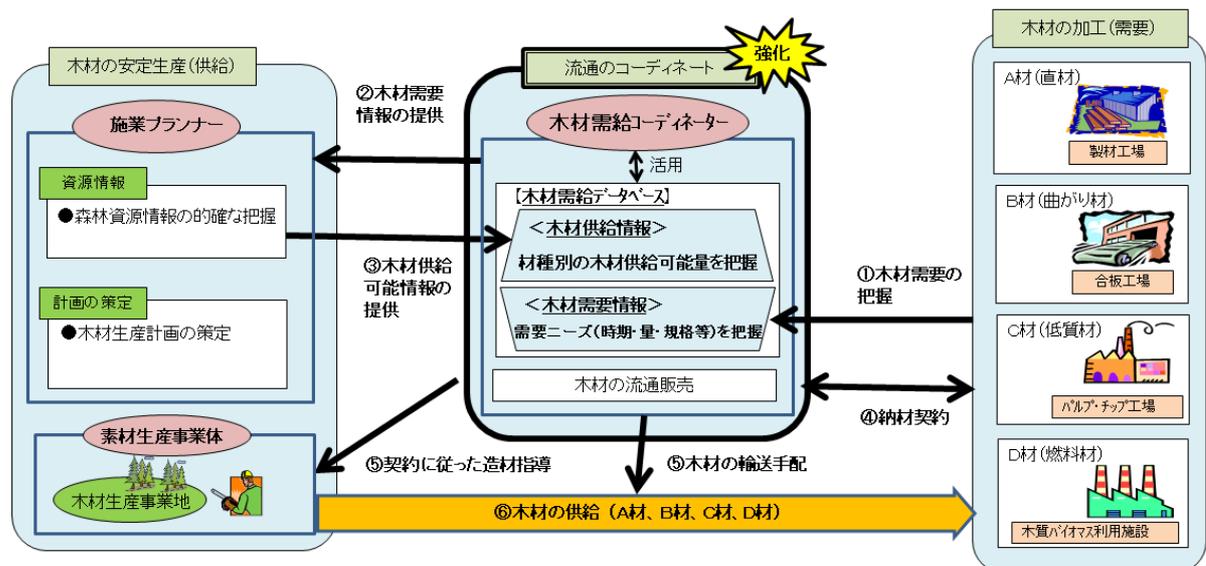
木材需給コーディネーターが木材需要にあわせた生産指導等を行うため、木材の需給情報のデータベース化を支援する。

(3) 需要ニーズに合わせた生産や効率的な運送等手法の実証 [9,674千円]

＜ふるさと雇用再生特別基金事業＞

需要側が求める規格に合った木材生産や運送などが効率的、効果的に行えるような手法を実証する。

※木材需給コーディネーター：木材需要を的確に把握し、素材生産事業者に対して需要にあわせた生産指導等ができる人材



(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費
 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費
 木材計画生産システム支援事業費 他